

## 西脇市消費生活センター

☎22-3111(防災安全課内)

No.137

### 賃貸住宅の入居・退去の注意点

賃貸住宅のトラブルの未然防止には、契約内容の十分な確認と理解が必要です。

①入居時・退去時に必要な費用を確認⇒敷金・礼金・保証金等の費用、更新時に更新料が必要な物件があります。

②退去時にどのような負担があるかを確認⇒敷金礼金0円でも、退去時にルームクリーニング費用や鍵交換費用負担といった「特約」が記載されている場合があります。特約とは、当事者間の特別条件を付した約束で、トラブルになることが多いので慎重に。

③退去や解約の手続きを確認⇒退去や解約には申入れ時期や条件について一定の手続きをとることが必要とされています。

④部屋は必ず下見をする⇒キズや汚れ、設備、給排水の状況を確認し写真を撮る。

なお、契約前に支払った金銭(申込金や預り金)があるときに、申し込みを撤回した場合は返金してもらえます。締結した契約書は敷金の清算等退去手続きに必要な事項が記載されています。退去手続きが完了するまで大切に保存しましょう。



西脇市に移住した若手クリエイターたち

「おしゃれ」で地域活性化―西脇ファッション都市構想  
「西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、活力ある地域社会を維持するため、産業を活性化させ仕事と雇用を創出することを目標に掲げています。  
その核となる事業が「西脇ファッション都市構想」です。そのねらいは、ファッション系の大学や専門学校に通う若者の移住、担い手育成・起業支援、播州織の最終製品化(＝アップル化)率アップなど「おしゃれ」で西脇市を活性化させることにあります。現在11名の若手クリエイター

「住みたくなる」まちの実現を目指して、本市の魅力を戦略的かつ効果的に発信するとともに、関係各所と連携を図りながら、さまざまな施策を展開してまいります。  
このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をとともに創っていきましょう。

## おもてなしコラム 10

西脇市では、平成28年1月に「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。地域食材の魅力について認識を深め、その魅力を広く発信し、本市にさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ 農林振興課(市役所内線323)



### 肉の祭典でおもてなし～市民の力で～

「肉の祭典inにしわき」を開催するきっかけは、新ご当地グルメ「西脇ローストビーフ」の誕生です。西脇ローストビーフはワークショップで市民と飲食店が一緒になって考え生まれたもので、みんなに愛されるよう大切に育てていかなければならないと考えています。ワークショップにおいては、元気なまちを創造するためにどのように西脇市をPRしていくべきかを考えました。

その答えの一つとして、市民一人ひとりが西脇市を愛し、魅力を伝える広報マンとしてPRを心がけることが提案されました。おかげさまで、認知度も少しずつではありますが上昇しています。そして、今回、全国でも愛されるグルメになるよう「肉の祭典inにしわき」を開催し、その中でPRしていきたいと思えます。

市民の皆さんにもご協力いただき、たくさんの方にご来場いただきたいと考えていますので、多くの方にお声かけいただきますようお願いいたします。

■とき/3月19日(日)

■ところ/新庁舎建設予定地(カナート西脇跡地)

## 市長からの手紙

西脇を元気に!!



西脇市長 片山 三二

37

やデザイナーが東京や横浜などから西脇市に移住し、仕事をしながら研修を受けています。  
今月21、22日、東京都港区で「播州織総合素材展2017」が、都内では7年ぶりに開催されます。そして西脇市に若手クリエイター・デザイナーを呼び込む「播州織ジョブフェア・ファッションショー」も同時に行われます。これまでない取組による「多くの若者との出会い」が今後の西脇市の飛躍につながることを心から期待しています。

今後、ファッションを志す若者が「訪れてみたくなる」、「働いてみたくなる」、「住みたくなる」まちの実現を目指して、本市の魅力を戦略的かつ効果的に発信するとともに、関係各所と連携を図りながら、さまざまな施策を展開してまいります。  
このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をとともに創っていきましょう。



図書館で蔵書整理などを体験

# 好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる 一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

## 平成29年度トライやる・ウィーク 受け入れ事業所を募集します

「トライやる・ウィーク」は、中学2年生がさまざまな職場体験を通して自分たちの地域社会に触れて自分を見つめ直し、自立性を高める活動です。地域や事業所の皆さんにご協力いただき、今回で20回目を迎えます。

「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に、働くことの尊さや厳しさを、そして、お客さまや地域の方々との触れ合うことの喜びや充実感などを、教えていただける事業所等を募集します。

### ◆とき

6月5日(月)～9日(金)  
午前9時～午後3時

### ◆その他

- ・活動中は弁当を持参します。
- ・トライやるワッペン(名札)をつけて活動します。
- ・活動にかかった経費は、申請に基づいて各学校からお支払いします。

中学2年生にとって、思いに残る「トライやる・ウィーク」にしたいと考えています。受け入れていただける事業所がありましたら、学校教育課またはお近くの中学校までご連絡ください。登録用紙は市ホームページからもダウンロードできます。



ケーキづくりに挑戦(kajitsu)

◆申込み・問合せ  
○学校教育課  
(市役所内線527)  
○西脇中学校  
(☎222725)  
○西脇東中学校  
(☎223905)  
○西脇南中学校  
(☎223553)  
○黒田庄中学校  
(☎282072)

◆申込み・問合せ  
○学校教育課  
(市役所内線527)  
○西脇中学校  
(☎222725)  
○西脇東中学校  
(☎223905)  
○西脇南中学校  
(☎223553)  
○黒田庄中学校  
(☎282072)

## 心のスケッチ

95

## 人権教育室コラム

### 誰もが過ごしやすい社会に

昨年10月、西脇市民会館で「兵庫県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が開催され、県内各地から12名の高校生が集いました。各地区大会で選ばれた作品はさまざまな体験に基づいた深みを感じた内容であり、心揺れ動くものばかりでした。あれから3カ月以上が経ちましたが、今でもあの時感じた深い感情は鮮明に残っています。

その中で、車いすで登壇した一人の女子高校生の発表はひととき印象深く、胸を締め付けられるような感情を抱きました。

彼女は西脇北高校に通う3年生で「誰もが過ごしやすい社会に」と題して体験発表をされました。障害のある彼女は、アルバイトを探そうとした高1の時に次のように言われたそうです。「障害者のアルバイトを探すお手伝いはできないですね。すぐに辞めてしまいかもしれないの」と。

それを聞いた彼女は、相手に憤りの感情を抱くというより、「これが社会の本当の姿なんだ」とあきらめにも似た気持ち

ちと、障害者という言葉でひとくくりに判断され自分自身を見てもらえないことに対する違和感や疑問を感じられたそうです。私はこの話を聞いて、彼女を失望させてしまったのは「自分も含めた社会」なんだと気付き、この問題を自分自身のこととして受けとめました。

今回の大会において彼女の発表は、最優秀賞に輝き、11月に東京・六本木ヒルズで開催された全国大会でも発表されました。「人間性や能力ではなく、障害という言葉で判断する社会の姿を知った」「私が発信する情報で社会が変わると信じ一歩を踏み出します」という力のこもった彼女の言葉の一つ一つが多くの聴衆の心に届いたことと思います。

障害のある人もない人も、「誰もが過ごしやすい社会」を実現するため、一歩を踏み出すのは今です。自分にできることを実践していこうと決意しました。

(人権教育室)